

宮崎県の死亡野鳥からも高病原性 鳥インフルエンザウイルスが検出されました！

～予防対策に不備がないか早急に確認して下さい～

➤ ウイルスに**感染した渡り鳥の飛来リスクが高まっています。**

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（R7年シーズン）

10月22日

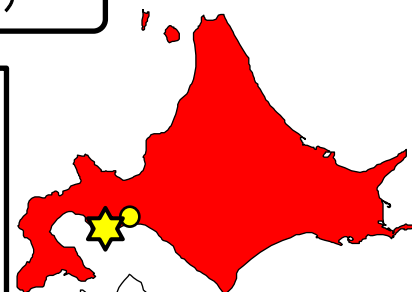
・宮崎県日南市ヒドリガモ1羽の死亡個体を回収

10月24日

・高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)
を検出

＜対応＞

・野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルは
10月22日北海道白老町の養鶏場の発生を受け、
「**対応レベル3**」に引き上げられ、現在、監視強化中



★ 養鶏場発生

● 野鳥からのウイルス確認

今シーズン
2例目の発見！

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲の石灰消毒・飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308（夜間・休日も転送機能で連絡可能）
（京都府家畜畜産物衛生指導協会南丹支部）